

ノババックス製、接種終了 新型コロナワクチン 厚労省

12/25 時事通信社



米ノババックス製の新型コロナウイルスワクチンについて、厚生労働省は25日、供給を受けた全てのワクチンが使用期限を迎えたとして、同日で接種を終了すると発表した。

購入契約を結んだ1億5000万回分のうち、9割超に当たる約1億4176万回分の供給がキャンセルされた。

ワクチンは2022年4月に薬事承認さ

れ、米ノババックスから技術移転を受けた武田薬品工業が製造。遺伝子組み換え技術で作ったウイルスのたんぱく質を接種する「組み換えたんぱくワクチン」で、米ファイザー製や米モデルナ製とは仕組みが異なる。今年9月から始まった秋接種では、12歳以上で使用可能だった。

厚労省によると、約824万回分の購入数に対し、自治体への供給は約110万回分にとどまり、約714万回分が廃棄された。

コロナワクチン標準額7000円 65歳以上の定期接種 厚労省

12/22(金) 時事通信社

厚生労働省は22日、主に65歳以上が対象となる来年度の新型コロナウイルスワクチンの定期接種について、標準的な接種費用が1人7000円に上ると明らかにした。

自治体などの補助があるため、実際の費用負担は各市町村で異なる。

厚労省は来年度の接種費について、ワクチン価格3260円、実施料3740円と積算した。担当者は「年度内にメーカー各社から市場の流通価格も聞いた上で、7000円を超えるような場合は何らかの措置を講じることも検討したい」としている。



新型コロナウイルスワクチンの容器と注射器（資料）